

第1回あさご未来会議 ふりかえりシート 内容

1 ひと

(1) このまま伸ばしたら良いと思うこと

- 人が大切ということが全面的にあらわされていることが素晴らしいと思う。(40代)
- 朝来市の人財育成の取組み。これからも期待する。(40代)
- 朝来市が進めている人財育成の取組み。(50代)
- 中高生に向けた人財育成の取組みは、地域愛の育成、Uターンにつながり良いと思う。(40代)
- ひとづくりがしっかりしている。対象と比べて優れている。(50代)
- 人を大切にする。(30代)
- 朝来市のことを良くしていきたい、朝来市の未来について考えている市民が多い。(20代)
- 話し合えることが多い。人材活用はすぐできるのではないのでしょうか。(60代以上)
- あさご未来会議のように多様な市民が学び合う場を続けていくこと。(40代)
- あさご未来会議のような人と人をつなげる目的で協働できるようにすること。
- 老若男女幅広い世代間での朝来市についての意見交換の場を設けている。(20代)
- コミュニケーションの場をつくらうとしていること。(20代)
- 高校の授業の総合実践という活動で、朝来市を多方面にどうPRしていくのか、朝来市特有の魅力をどう活かしていくのかの取組みや、朝来市に移住してこられた人たちの好意的な感想などを聞き、初めて朝来市役所に勤めている職員の頑張りが理解でき、とても良かった。(高校生)
- 新しい面白い人がいたり、そこから新しい活動が始まりつつあったりすることを感じる。(大学生)
- 朝来市のこと好きだという若い人がある。(20代)
- 元気で意識の高い若者や優秀な高校生が多いと感じる。(30代)
- 自分が住んでいるまちを好きな傾向にあること。(20代)
- 子どもがみんなあいさつする。(30代)
- 人柄が良い。(30代)
- 朝来市には全国に誇れるキーパーソンがおられる。(50代)
- 新しいお店などが出来ていることで、朝来市が好きな人、応援してくれる人が多い。(20代)
- 朝来市へ移住する人がある。(20代)
- 移住者がいる。(大学生)
- 移住推進に係る行政の取組みや姿勢は4.5点で良いと思う。(50代)
- 移住者の受入れに寛容だと思う。(30代)
- 都会から移住して人と人とのつながりの良さを味わった。(30代)
- 京阪神に近く、交通の便も良く住みやすい地域である。(60代以上)
- 子育てをする上で、医療費無料や保育料が安いなど最低限のことはそろっている。(30代)
- 住みたい田舎日本一になった朝来市は方針に間違いはないと思う。(60代以上)
- 小さな地域の中に、スーパー、病院、などもあり、朝来市は実に住みやすい地域だと思う。(60代)

(2) 気になっていること、ありたいまちの姿

① 幼少中学生の人材育成

区分	気になっていること（課題など）	ありたいまちの姿、どうしていきたいか（これから）
地域とのつながり	<ul style="list-style-type: none"> ● 中高生で地域とのつながりが切れてしまっている。(20代) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 子どものころから大人になるまで切れ目ない地域とつながる取組みを行う。(20代) ● まずは“まち”を知ることから。(30代) ● 中高生の地域学習の促進。(40代) ● 小さいうちから学校教育の中でこのまちに触れて、まち全体でどうできるか考えて欲しい。(高校生) ● 小中学生等の小さいころから地域愛を育む取組みを行う。(20代) ● 小さいころから地元を愛する教育を。家庭でも。(40代) ● 子どものころから社会参画できる環境づくり。(30代) ● 子どものころから主体的にまちづくりに参画する。(30代) ● 自分自身が地域の子どものことを知り、関わる。(40代) ● 伝統やふるさとの良さをしっかりと伝えたい。(60代以上) ● 人と関われる機会をつくる。(高校生) ● 集える場所をつくる。(高校生) ● ひとづくり、教育を一つの柱に据える。特に教育は市としてできることが多いと思います。(50代) ● 若者を育てていくこと。人材育成の強化。(高校生)

企業を知る		<ul style="list-style-type: none"> ● 若い人の働く姿、体験、移住者のお話などを中高生が聞く機会づくりを。(40代) ● 小学生の時から市内企業を知ってもらう。社会見学はまず市内から。市内企業の良さを伝える。(30代) ● 中高生に市内企業について良く知ってもらい興味を持ってもらう。(20代)
地域のことを伝える	<ul style="list-style-type: none"> ● 朝来の魅力の理解が不足している。(40代) ● まちに関心がない。(高校生) ● まちの行事など中高生になってくると時間的に行きにくくなる。(高校生) ● どんな政策をしているのか分からない。(高校生) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 情報発信、情報共有を増やしていく。(大人向けではなく子ども・中高生向けの広報があったら良い。ケーブルテレビの活用も。)(30代) ● 紙・ホームページだけでなく、若者に届くようにSNSを使って発信する。(高校生)

②高校生・大学生の人材育成

区分	気になっていること(課題など)	ありたいまちの姿、どうしていきたいか(これから)
地域とのつながり	<ul style="list-style-type: none"> ● 中高生で地域とのつながりが切れてしまっている。(20代) ● 高校生になると小学生や中学生のときよりも地域の人との関わりが減ること。(高校生) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 子どものころから大人になるまで切れ目ない地域とつながる取組みを行う。(20代) ● あいさつや周りの人とコミュニケーションをとる。(高校生) ● 高校生のサードプレイスをつくる。(イオン以外で)(50代) ● 人と関われる機会をつくる。(高校生)(再掲) ● 若い人との対話の場を。(40代)
地域づくりへ参画	<ul style="list-style-type: none"> ● まちに関心がない。(高校生)(再掲) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 小さいうちから学校教育の中でこのまちに触れて、まち全体でどうできるか考えて欲しい。(高校生)(再掲) ● 中高生の地域学習の促進。(40代)(再掲) ● 若者の力を認める。高校生はしっかりしている。(60代以上) ● 子どものころから社会参画できる環境づくり。(30代)(再掲) ● 子どものころから主体的にまちづくりに参画する。(30代)(再掲) ● 若者を育てていくこと。人材育成の強化。(高校生)
朝来市の魅力あるしごとに触れる	<ul style="list-style-type: none"> ● 高校卒業後に都市部に流出してしまう。(40代) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 若い人の働く姿、体験、移住者のお話などを中高生が聞く機会づくりを。(40代)(再掲) ● 高校生からの起業学習。(20代) ● 職場体験の回数を増やす。(高校生) ● 中高生に市内企業について良く知ってもらい興味を持ってもらう。(20代)(再掲) ● 大学に行かなくても田舎でも豊かな生活がおくれる、立派な人物になれるという価値観を。(40代)
地域のことを伝える	<ul style="list-style-type: none"> ● 朝来の魅力の理解が不足している。(40代)(再掲) ● まちに関心がない。(高校生)(再掲) ● まちの行事など中高生になってくると時間的に行きにくくなる。(高校生)(再掲) ● どんな政策をしているのか分からない。(高校生)(再掲) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 集える場所をつくる。(高校生)(再掲) 情報発信、情報共有を増やしていく。(大人向けではなく子ども・中高生向けの広報があったら良い。ケーブルテレビの活用も。)(30代)(再掲) ● 紙・ホームページだけでなく、若者に届くようにSNSを使って発信する。(高校生)(再掲)

③移住推進

区分	気になっていること(課題など)	ありたいまちの姿、どうしていきたいか(これから)
移住推進の手法	<ul style="list-style-type: none"> ● 人口減少。(60代以上) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 子育て世代を移住者の主なターゲットとしているが、もっとセグメント化して特定のターゲットに特化して政策を立てるべき。(40代) ● 移住者を増やし、人が人を呼ぶ仕組みにしていく。(50代) ● 生活に係るコストが少ないという長所を強みにしていく。(高校生) ● 朝来市はこれだ!というものを市民の大多数が共有し、朝来市に住んでいることに高揚感を持って暮らすことで、まちが輝き、移住につなげる。(40代)
空き家の活用等	<ul style="list-style-type: none"> ● 空き家の増加。(60代以上) ● 移住者が家探しで困る。(20代) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 空き家の活用。(60代以上) ● 空き家の紹介。(60代以上) ● 空地や空き家の登録バンクの規定を緩めて、新規農家や新規起業者を案内し、Iターンを促進。(50代) ● 家探しの窓口の一本化(ワンストップ窓口)と周知。(20代)

		<ul style="list-style-type: none"> ● ツテがあれば安く良い家が借りられるのではなく、だれでも損をせずに家を探せる仕組みを。(20代) ● 田舎は給料は安いのに固定費は高い。もともと土地やお金があることが多い。もっと安くという気風になれば。(20代) ● 生活費を軽減し、生活しやすくする。(60代以上)
受入れ体制づくり (移住後の支援)	<ul style="list-style-type: none"> ● 地元で根付く移住者(私の区ではほとんどなし)。(60代以上) ● 地域の当たり前はIターン者にとって当たり前でないかもしれない。(40代) ● 移住者を受け入れない風潮が残っている地域もある。(未来会議の対話のなかで) (20代) ● 住民の意識レベルが低すぎるのも事実。移住者を受け入れようとする姿勢が全くないどころか、壁を作り邪魔をしていく。住民一人ひとりの意識改革こそ重要課題。(50代) ● 移住者に対して排他的な方も少しいる。(30代) ● 都市部からの移住者と相互理解をすること。(60代以上) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 移住者が住みやすいように地域が協力する。(40代) ● 移住者が困らない地域にする。(50代) ● 受入れ体制づくりを行う。(40代) ● 移住者に対して変化に対応する。変わることを受け入れる。(大学生) ● 移住者へのサポート。(20代) ● 移住者が相談できる人が欲しい。(20代) ● 移住者が活躍しやすいように。(60代以上)
情報発信		<ul style="list-style-type: none"> ● 積極的かつ正確な情報発信。(40代) ● SNSで情報発信。(40代) ● 朝来市の取組みを市民はもちろん、移住を考えている人、Uターンを考えている人などに知ってもらうことが大事。(30代)

④全般的なこと

区分	気になっていること(課題など)	ありたいまちの姿、どうしていきたいか(これから)
人と人がつながる場	<ul style="list-style-type: none"> ● 若者(特に小中高生)がやりたいこと、あった方がいいものといった意見を本音で話せる場が少ない。(大学生) ● 大人と子どもがコミュニケーションをとる場がない。(30代) ● 交流の場が少ない。(40代) ● 違う地区に住んでいる住民同士や違う世代同士の視点が違う。(30代) ● 様々な力を持っている人が多くおられる。だが、知り合えないと分からない。(60代以上) ● 最前線で頑張る人と旧態依然とした部分と半分半分の状況。(40代) ● 交流の機会の少なさ。年代、国籍、出身等を超えたつながりの場。(40代) 	<ul style="list-style-type: none"> ● ひとつづくりは時間がかかる。粘り強く進める。(60代以上) ● 若者の人材育成の実施。若者が将来地元に戻ってきやすいように、今から朝来プライドを持ち、市民意識を変える。(40代) ● あさご未来会議のようなつながりをつくるきっかけの場を継続していくこと。(大学生) ● あさご未来会議のような多様な市民が学び合う場を続けていくこと。(40代) ● 次世代のリーダーの育成。(50代) ● あさご未来会議のように子どもと大人が交流できる場所や機会を増やす。(20代) ● あさご未来会議のような機会を増やしていけば、いろんな人に朝来市の取組みを共有できて良いと思う。(高校生) ● もっとゆるい会議の場を。(お菓子欲しい、ジュースもあるといい) (大学生) ● 誰でも気軽に自由に対話できる空間。気軽な雰囲気。人と人をつなぐ意識。(40代) ● 問題点を話し合える場が通年でほしい。(40代) ● 話し合える場、知り合える場をつくる。(50代) ● 一人ひとりと対話ができる場づくり。(60代以上) ● 実践されている人と知り合える機会を作る。対話の機会。(60代以上) ● 年代に関係なくこうした話し合いをする機会は今後も続けて欲しい。ただ、その話し合いをしたことで、どのように変化できたのかフィードバックや数値化が必要と考えます。(30代) ● 大人と子どもがコミュニケーションをとる機会を増やし、子どもへつながりの大切さを伝える。(30代) ● 接点を増やす。(40代) ● 地域の人との関係をもっと深くする。(高校生) ● 大人もみんなあいさつをする。(30代) ● あいさつをして親しくなる。(高校生) ● 人と人が触れ合う機会を多くする。(60代以上) ● 人と人とのつながりを大切にしていこう。(大人と、子ども、学生) (20代) ● 人とのつながり。(60代以上)

		<ul style="list-style-type: none"> ● 若者との交流（意見交換）の場をつくる。(60代以上) ● 自然と色んな世代が交わる場づくりやきっかけづくり。(30代) ● 人の会えるまちになりたい。どの年代でも。(コミュニティが生まれるまち)(20代) ● 市民がみな友だち。(40代) ● もっと人と人が上手につながれるようになれば良い。(30代)
シビックプライドの醸成	<ul style="list-style-type: none"> ● 仕事があるのではなく、家を守るために帰るという動機。(30代) 	<ul style="list-style-type: none"> ● シビックプライドを育む。(大学生) ● 家の為に帰るのだとしても、ポジティブな気持ちで帰れる場所。(30代) ● 朝来市のことが好きという若者がいたのが印象的。このような若者をもっと増やせば良い。(20代) ● イベントに参加できなくても郷土愛が育めるように。(40代) ● 地元愛溢れる若者を一人でも多く育成する。(40代)
「帰ってきたい」「移住したい」と思える若者が活躍するまち	<ul style="list-style-type: none"> ● 若者が少ない。(高校生) ● 盛り上げてくれる人が少ない。(高校生) ● 人の流れがない。(60代以上) ● 若者にとって魅力あるまちになっているか。住みたいまちになっているか。(40代) ● 学校を卒業就職しても帰ってこない。(50代) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 大人が大人同士で面白いと思える、感じることをしていくことで、それを見る子どもが都会に出ても戻ってくるのではないかな。(30代) ● 卒業後も残って働きたいと思うまちづくりを。(60代以上) ● 戻ってきたいと思える地域にする。(高校生) ● 若者が引っぱっていく姿。若者も元気なまち。(20代) ● 朝来市を一度出ても、また帰ってきたいと思えるような仕組みがあれば良い。(20代) ● 「朝来市で働きたい」「朝来市に住みたい」と思う若者が増える。(高校生) ● 大学卒業後に朝来市に戻ってくる基盤づくり(女性がほとんど戻っていない)。(50代) ● 頼まなくても自然にふるさとに帰ってくる人に。(60代以上) ● サケのようにとか言い出ても戻ってくる若者を増やす環境づくり。(20代)
多様性が認められる地域づくり (自分らしく活躍できる)	<ul style="list-style-type: none"> ● 守りに入っている。(40代) ● 元気がない。(40代) ● 挑戦しない。(40代) ● 他者を受けり入れることが苦手。(40代) ● やや保守的。(30代) ● 過去の習慣が残っている。(60代以上) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 多様を受容する。(40代) ● 想いに答える、受け入れる。(40代) ● もう少し少数派に寛容でありたい。(30代) ● 理解しあえ楽しく交流するまち。(60代)

⑤その他

区分	気になっていること(課題など)	ありたいまちの姿、どうしていきたいか(これから)
大学等の誘致		<ul style="list-style-type: none"> ● 大学サテライトキャンパスの誘致。(40代) ● 大学などの設置。(大学生)(30代)(40代)(60代以上) ● 専門学校をつくる(神山モデル)。(50代) ● 専門学校をつくる。(60代以上) ● 大学、専門学校があってほしい。(高校生)
市民意識	<ul style="list-style-type: none"> ● あさご未来会議に来て、危機意識が高まった。住民は自分のまちの問題として捉えていない人が90%以上。(60代以上) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 人口減少が限界町村に突き進むということをもっと知らせなくては手遅れになる。(60代以上)
出産・医療等	<ul style="list-style-type: none"> ● 出生数の減少。(40代) ● 子どもを産み、育てることが難しい。(40代) ● 産婦人科がない。(60代以上) ● 子どもが欲しくてもできない人が多数いる。(40代) ● 結婚問題。(60代以上) ● 病院にMRIがない。(60代以上) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 出産などの環境を充実。(30代) ● 子育てがしやすいまちに。(60代以上) ● 出会い、子育て支援の機会の充実。(30代) ● 切れ目ない支援を実現(30代) ● 医療機関の充実。(40代) ● 産婦人科、病院。(60代以上)

2 しごと

(1) このまま伸ばしたら良いと思うこと

- 充実している。市の取組みの成果である。(50代)
- 新しいビジネスがあり、市が活性化にしっかり取り組んでいる。(20代)
- 朝来市内は仕事がある方だと思う。(60代以上)
- 自宅などを改装して新しいお店をしたり、何人かで組んで活動されていたりするところがある。(50代)
- 農業研修制度はとても良い制度だと思う。(20代)
- 竹田城跡などがあり観光に適したまちである。(60代以上)
- 竹田城やよふど温泉などの資源がある。(50代)
- GINZAN-BOYZの取組みは良い。アピール性が高い。(60歳以上)

(2) 気になっていること、ありたいまちの姿

①経済の振興

	気になっていること（課題など）	ありたいまちの姿、どうしていきたいか（これから）
働く場所の確保	<ul style="list-style-type: none"> ● 働く場所が少ない。(20代)(40代)(60代以上・複数) ● 職場が少ない。(60代以上) ● 大きな企業が少ない。中小企業も減っている。(50代) ● 企業が少なく。(60代以上) ● 田舎には優良企業は来ない。(60代以上) ● 転入しても職場があまりない。(60代以上) ● 移住者の仕事の場が少ない。(60代以上) ● 「仕事がない」に対応する市の対応が不満。(60代以上) ● 企業誘致したからといって人が集まるわけではない。(60代以上) ● 仕事が多様化しているが、市内の職種の選択肢が少ない。(60代以上) ● 就職先が少ない。(高校生) ● 企業誘致というが、本当に市内は仕事がないのか。(60代以上) 	<ul style="list-style-type: none"> ● IT関係の会社が欲しい。(60代以上) ● 色んな企業や職種があって就職先が選択できると良い。(50代) ● たくさんの業種の人たちが増える企業を呼ぶ。(40代) ● 働く場を増加させていく。(60代以上・複数) ● 企業誘致。(20代、40代・複数、60代以上・複数) ● 優良企業の誘致。(40代) ● 大型企業誘致が最近見られない。(60代以上) ● 企業を増やす。(高校生、40代) ● 働く場所。(高校生) ● 職業が限られてくるので働く場所を増やす。(高校生) ● 自然にあった仕事を持つてくる。(60代以上) ● 他町の働く場を求めることが必要。(60代以上) ● 働けるところが限られているので、様々な業種がもっと増えると働くために人口が増えるはず。(30代) ● 大企業は必要ないと考える。他の都市でもどこでもやっていることだから。別に朝来じゃなくて良いです。(30代) ● 交通の便を活かして県内通勤を。交通費の補助を考える。(60代以上) ● 職場を確保するために一層の努力を。(60代以上) ● 水力発電で電気代を安くすれば企業が出てくる。(60代以上)
若者にとって魅力あるしごと	<ul style="list-style-type: none"> ● 若者にとって魅力ある仕事が少ない。(30代) ● 若者が就きたい仕事がない。(高校生)(40代)(60代以上・複数) ● 若者の仕事がない。減っている。(40代) ● いいと思える企業がない。都会にあると思ってしまう。(高校生) ● 若者が就きたい仕事の情報発信ができていない。(40代) ● 朝来市にある「しごと」についてあまり理解していない。(高校生) ● 都会から戻ってきたとき、就職先はあっても生活できるほどのお金が稼ぐことができるのか分らない。(高校生) ● やりたい仕事が朝来市にない。(20代) ● 魅力的な職場が少なく、多様性のある業種も少ない。(60代以上) ● 若い人が働きたいと思える仕事がない。(高校生) ● したい仕事ができない、出来る仕事に限られている。(20代) ● 様々な取組みを行っているが実際に働ける場所は少ない。(20代) ● 朝来市の残るための仕事がないと思う。(高校生) ● 求職と求人とのミスマッチによる人口流出。(40代) ● やりたい仕事とのマッチングができていない。(40代) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 若者にとって魅力ある仕事があること。(30代) ● 若者が働きたい職場の誘致。(30代) ● 若い人・高齢者が働きやすい環境づくり、働き方改革。(20代) ● 若者が働ける仕事を増やす。(60代以上) ● お仕事をするための環境やお金のことなどの見直しをおこなう。(高校生) ● 若者が楽しめる、やりがいのある仕事を増やす。(40代) ● 専門学校や大学へ出た学生でも帰ってきてやりたいことが出来るような働く場所の確保。(30代) ● 朝来市から出ずに仕事ができるように。(60代以上) ● 若者が朝来市に就職したいと思えるような起業の創造と誘致。(60代以上) ● 出て行った人が戻ってきたときに働けるようにしたら良い。(高校生) ● 若者があこがれる職業がある。(大学生) ● 若い人に魅力的な仕事が必要。(40代) ● 選択肢を増やす。(40代) ● 若者に流行な仕事が入ってくるができるように新陳代謝を促進する。(30代) ● 魅力的な仕事を見つける。(高校生)

若者が働きやすい職場づくり	<ul style="list-style-type: none"> ● 若者をもっと大切にしたい。企業努力が必要。離職率が高い。(20代) ● 職場はあるが若い人が続かない職場。(60代以上) ● 若者や未婚者に正社員が少ない。(60代以上) ● 続けられる仕事がない。(大学生) ● 上下関係がしんどい。(大学生) ● 若者が働ける正社員の仕事が少ない。(20代) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 都会の企業に負けない企業づくり(金銭面、取組み)。(20代) ● 企業も若い人が辞めない仕事場づくり。(60代以上) ● 若者が働きたいと思えるような職場づくり。(高校生) ● 若者が続けられる職場づくりが必要。(60代以上) ● 給料の確保。(60代以上) ● 安定した収入の確保。(60代以上) ● 充実したうえで安定した仕事がほしい。(高校生) ● わざわざ出なくても良い生活基盤、仕事があってほしい。(高校生)
人手不足	<ul style="list-style-type: none"> ● 人手不足の現状があるが知られていない。(50代) ● 人が足りないところも多く定年延長が多くなっている。(50代) ● 市内企業の人手不足。(60代以上) ● 労働者不足。(30代) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 人員が流出しない職場づくり。(60代以上) ● 仕事もコミュニケーションが大事。横のつながり。(50代) ● アジアの人々共に積極的に仕事ができる市。(60代以上) ● 外国人就労。(高校生)(60代以上) ● 外国人に目を向けて活性化を狙っているところもある。発想の転換で対策を。(60代以上) ● 人手不足なので、市役所やハローワークで共有して、必要なところに人をまわす人材バンクのような仕組みを作っては。(60代以上)
市内企業の応援	<ul style="list-style-type: none"> ● 新しいことをしようとしている企業へのバックアップが少ない。朝来市のイメージは挑戦しない。(高校生) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地元企業の小さな応援。(50代) ● 企業の拡大。(60代以上) ● 若い私たちが定住できるよう会社や事業が安定することを願う。(高校生) ● 多業種の労働者のコミュニティの形成。(40代) ● 市内企業の魅力を高める。(30代) ● 今の企業の力をさらにつけてもらう。(50代) ● 地元の仕事に愛着が持てる。(40代) ● 家具のまちだったので、これを中心に人や企業を集める。(40代)
やりたいことを仕事にする起業の支援	<ul style="list-style-type: none"> ● 新しい仕事のあり方。(地域法人など)(大学生) ● 起業するのにチャンスが少ないのではないか。(40代) ● 新しい試みが少ない。(60代以上) ● 小さい仕事が減っている。(30代) ● 「地域の当たり前」はIターン者にとっての「当たり前」ではないかもしれない。(職業観について)(40代) 	<ul style="list-style-type: none"> ● やりたいことを仕事にしやすい、起業できる。(大学生) ● 若い人が起業につながる環境づくり。(40代) ● 仕事は自分でつくるもの。(40代) ● 初めの一步を踏み出すサポートの充実を。もう少しフレキシブルにできると良い。(40代) ● 起業の支援。(40代) ● 小さい企業・起業がもっと起きる状況になっていきたい。(30代) ● 「まちのしごと」(地域課題を解決する仕事)で食べていく。(40代) ● 起業している方々が暮らし良くてできるよう、もっと伸ばしていく(応援していく)取組み。(60代以上) ● まだまだ未開の仕事が多くある。(40代) ● サテライトオフィス、小商い、起業などを増やす。(50代) ● 新しい取組みをしようとしている人に朝来市は全面的なバックアップをしていけるような仕組みづくりを。(高校生) ● 朝来市じゃないといけないことを仕事にし、発信する。(30代) ● 起業を応援することで若者が寄るように。(60代以上) ● 移住者は都会でのサラリーマン的な仕事を求めて朝来市には来ていない。自立した仕事ができるように手厚い支援を。(60代以上) ● 起業しやすいしくみづくり。(高校生、定住後のIターン、Uターンなど)(40代) ● 夢がかなうまちに。(20代) ● 個人で生業をする「小商い」をもっと増やす。(20代) ● パーソナルを活かした小さなビジネスをする人々がコラボしたり協力したりして、地域内でお金が回るしくみのあるまち。(20代)

商店街の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ● 商店を継ぐ人がいない。(高校生) ● 商店街がない。静か。(高校生) ● 以前賑やかだったところがシャッターを下ろしている。(50代) ● スーパーは適度に点在しているが、個人商店がもっと元気になれば望ましい。(30代) ● お店が少ない。(20代) ● お店が和田山にかたまっている。生野とかにあんまりない気がする。(高校生) ● 通学路に寄り道できるところがない。(高校生) ● 町並みがさびれた印象が強くさみしい。(60代以上) ● まちに元気が少ない。(40代) ● 空き家の増加。(30代) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 小売業・サービス業の更なる活性化。地域内消費を促進。(30代) ● 商店街的なイベントを何回か開く。定着してきたら商店街を開く。(高校生) ● 駅前を整備。(40代) ● 若者が入りやすいお店を作ってほしい。(高校生) ● 空き家の発展的な活用。(30代)
市内企業の PR、情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ● 情報発信が下手。情報が行き届いていない。(20代) ● 起業のアピール不足。(60代以上) ● 若者が就きたい分野の企業の存在を知らせることで進路選択に朝来市が残るのでは。(大学生) ● 話を聞くと、仕事がない、帰ってきてても働き口がない、起業をするにしてもバックアップの仕組みがないと言われるが、知られていないだけではないか。(20代) ● 事業について情報発信の方法について工夫が必要。知らない人がいる。配布だけでは伝わらない。(60代以上) ● 働き世代や学生には、“明確な朝来市に住むメリット”が感じられない。(40代) ● 若い年齢の間は給料は安くても良いという昔ながらの考えの人がいる。そういう空気を親が感じ取るから子供にすすめないのでは？(20代) ● 仕事がないと思いついでいる人が多い。PR不足。(30代) ● 若者に選ばれる「魅力ある仕事・企業」の情報発信不足。(30代) ● 市民自身も知らない会社がたくさんある。 ● 朝来市にどんな仕事があるのか、若者には伝わっていないことが多い。(高校生) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 情報発信。(50代) ● 朝来市独自の産業の PR。(50代) ● 起業の魅力をアピールできたら若者が大学を卒業してから帰る可能性は高まる。(20代) ● 若者への市内企業の PR。(40代) ● 市内から通える企業の紹介。情報発信。(40代) ● 市内の起業の仕事内容や給与システム等を地元高校生に紹介できるシステムを構築し、若者が朝来市内に残る努力を行政が仲立ちをする。(50代) ● 市内の良い企業悪い企業が見える企業紹介の方法を。(20代) ● 今の仕事をするまでは地元にはほとんど仕事がないと思っていた。それが地元に残ったり、Uターンしない理由でもあるので、積極的に PR を。(20代) ● 中途採用等ターゲットを絞って、具体的な求人情報を発信する。(外から見た朝来市が魅力的であるように)(30代) ● 市民は会社を知る努力、会社自身も知ってもらう努力をすると良い。 ● 自分が貢献できる、やりがいを感じる事が出来るという視点で。(40代)
その他		<ul style="list-style-type: none"> ● 人口減少等による企業への影響を「自分事化」して考えることが必要。(40代)

②農林業の振興

	気になっていること（課題など）	ありたいまちの姿、どうしていきたいか（これから）
遊休農地・休耕田の活用	<ul style="list-style-type: none"> ● 休耕田の増加。(60代以上) ● 放棄田の増加。(60代以上) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 農業の組合を作り田畑の活用をお願いしたい。(60代以上) ● 休耕田の活用により I ターンの増加。(40代) ● 休耕田を活用できるように持主と使用者のマッチングがあればよい。(30代) ● 休耕田や草だらけの農地を活用して、農業講習会。(畑、草刈りの仕方、苗の植え方) とかに活用し、そこに起業の協力を得るなどし、欠点とと思っているところを前に出す。(30代)
農業後継者	<ul style="list-style-type: none"> ● 農業後継者不足。(60代以上) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 農業を好む人を増やそう。(60代以上) ● 外国人を雇用することで朝来市の農業を活性化していく。(高校生)
儲ける農業	<ul style="list-style-type: none"> ● 農業だけでは生活できない。(60代以上) ● 農業は作れば損の状況。(40代以上) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 儲かる農業になれば良い。(60代以上) ● 6次産業をすすめる。(40代) ● 農産物、林産物に付加価値をつける仕事が増やす。(30代) ● 高齢者や未利用地を利用して地産地消を展開し農業振興のきっかけとする。 ● 農業(米づくり)のお米の値段がもっとあがるといい。そうすれば、みんなが米を作りたくなる。(60代以上)
森林活用	<ul style="list-style-type: none"> ● 山間部が荒れている。(60代以上) ● 野生動物に追い回されるのが大変。(60代以上) ● 森林環境税の有効活用。(40代) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 成木の活用促進など山林振興を。(60代以上) ● 小さな林業産業を育てられる新しいしくみづくり。(50代) ● 里山地域の私有林を集約して小規模林業を推進する山林整備を進める。(40代)

③観光交流の振興

	気になっていること（課題など）	ありたいまちの姿、どうしていききたいか（これから）
地域資源の活用	<ul style="list-style-type: none"> ● 魅力が活かしきれしていない。(30代) ● まち自体が良いのにまとまりが少ない。(40代) ● 観光資源の活用がものたりない。(40代) ● せっかく有名になった観光地があるのにうまく活用できていない。(高校生) 	<ul style="list-style-type: none"> ● まちごとにコンセプトを決めて、ストーリーをつくる。(40代) ● 今ある資源を活かす。(40代)
周遊型・滞在型観光の推進		<ul style="list-style-type: none"> ● 域内交通システムを増やす。(50代) ● 滞在型、体験型観光（地域主体に）を高める。(50代) ● 歩いて楽しいまち。(30代) ● 観光から消費につなげる。(40代)
リピーター増	<ul style="list-style-type: none"> ● リピーターが少ないこと。(高校生) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「ごみをなくす」など具体的な目標を定め、実行する。(高校生) ● 交通の便や方法を増やしたら交流人口も増えるのではないかと。“素敵”と感じたら住む人も増える。(40代)
観光施設	<ul style="list-style-type: none"> ● 宿泊施設不足。(60代以上) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 飲食店、宿泊場所の整備。(20代) ● 竹田城下町や銀山近くをもっと盛り上げれば観光客も増えると思う。(高校生)
インバウンド観光		<ul style="list-style-type: none"> ● インバウンドの推進。(40代)(60代以上) ● 外国人が訪れるまちにしていく。世界に発信。(40代) ● インバウンド観光はまだ十分に可能性がある。(50代)
情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ● SNSの利用が上手ではない。(高校生) ● 周知率の低さ。(20代) ● 情報の周りが悪い。(20代) 	<ul style="list-style-type: none"> ● SNSの利用の改善を。(高校生) ● 発信方法の工夫。SNSを活用するのは良いが、その使い方。(20代) ● チラシ、広告、SNS活用で情報発信する。(20代) ● 子どもも大人も分かりやすい情報の伝え方。(20代) ● SNSの活用。(20代)
その他	<ul style="list-style-type: none"> ● 	<ul style="list-style-type: none"> ● 観光ニーズの把握と新たな戦略づくり。(40代)

④全般

	気になっていること（課題など）	ありたいまちの姿、どうしていききたいか（これから）
交通の利便性	<ul style="list-style-type: none"> ● 高速道路も整備され、アクセスも悪くない。チャンスを活かしきれしていない。(40代) ● 北近畿道など高速道路が便利。(50代) ● 交通の便が良くなった。(60代以上) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 交通の便の良さを活かす。(60代以上)
自然や景観との共生	<ul style="list-style-type: none"> ● 自然保護と観光促進について。(求められているものを正確に把握しきれない気がする) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 美しい自然の良さを伸ばしていきたい。(60代以上) ● まちや道路を美しく維持してほしい。(40代) ● 働く場所の確保とまちの良さ（景観・人のつながり等）の両立。 ● 自然や景観の保護という観点を考慮して、どんな産業をメインにするかはきちんと明確にした方が良い。(農業等第一次産業がメインが良いと思う)(30代)
推進方策等		<ul style="list-style-type: none"> ● 全般として良くやっているが、八方美人にならないように。特化する。批判は出るだろうが、突き抜けることによって朝来市のカラーがでる。(40代) ● AIの活用(20代) ● 先を見る力ができれば成功者は多くでる。(60代以上) ● 市民一人ひとりの意識改革。(50代)
その他	<ul style="list-style-type: none"> ● 柔軟性に欠ける。(40代) ● ただ言われたことだけをやる。(60代以上) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 市役所がタイムリーに対応する。(50代)

3 まち

(1) このまま伸ばしたら良いと思うこと

- 小規模多機能自治のトップランナーである。(50代)
- 地域自治協議会が頑張っている。(60代以上)
- 安全安心のあるまちづくりが徹底している。まちが明るい。(50代)
- 朝来市が推進している生き生き100歳体操など高齢者に対する取組みはとても良いと思う。(60代以上)
- 近隣の人との繋がりを感じる。(20代)
- 人間関係は最高に良い。今の付き合いをそのまま。(40代)
- 頑張って地域のために動いている人が周りにたくさんいる。(30代)
- 田舎ならではの優しさ。(高校生)
- 優しい人が多く、近所の人たちとのつながりを感じられる。このままいい人がたくさんいると良い。(高校生)
- 地域の関わりの中で親切にもらえる。(高校生)
- 開放的で、過干渉しないイメージ。温かい方が多く、自然に溶け込める環境。(20代)
- 優しい人が多く、生活しやすい。(60代以上)
- 住みやすいまち、素晴らしいところが多いまち。(20代)
- 知らず知らずのうちに建物や道路など住みやすくなっていると感じます。
- 美しいまちなみ。(60代以上)
- ゴミが落ちていない。(30代)
- 京阪神ほどの便利さ、派手さはないが、暮らしていくには十分。(20代)
- 他市に比べると福祉サービスは手厚いと思う。(30代)

(2) 気になっていること、ありたいまちの姿

①地域での支え合いのしくみづくり

	気になっていること（課題など）	ありたいまちの姿、どうしていきたいか（これから）
地域コミュニティ 人と人とのつながり	<ul style="list-style-type: none"> ● 近所の付き合いが少なくなっている。(20代) ● 近所づきあいが悪くなっている。(60代以上) ● イベント・行事が少ない。(20代) ● イベントが多すぎる。(60代以上) ● 知らないところでひきこもり、シングル家族が増えている。(50代) ● コミュニケーションがない。 ● 地区会議や講習会参加などに参加者が少ない。(60代以上) ● 私が住む地域では昔からの行事や地域全体の行事への参加が少なくなっている。関心がないのか、やる気がないのか、住民意識が薄くなっている。(50代) ● アパートやクラインガルデンなど地域コミュニティとつながりがない。(20代) ● 地域住民のコミュニケーションの場が少ない。(高校生) ● 住民たちの信頼度が低い。(高校生) ● 温かい人と他人に興味がない人が共存していて、もう少し他人に興味を持ってもらいたいと思うときがある。(40代) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 住んでいるひとが住みやすいと思えるまちづくり。(40代) ● 地域コミュニティの充実。(40代) ● サードプレイスをつくる。(50代) ● 地域での行事・イベントをもっと活発にする。(20代) ● 活動しやすい環境整備。(40代) ● 絆のあるまちに。(60代以上) ● 公園をもう少し増やしていけたらよいと思う。年少の子どもでも遊べる遊具を置いたり、ベンチを置いて、そこで集まって対話する環境をもっと増えると、年代も様々な子どもからお年寄りまで集まれる。コミュニティが増える。(30代) ● 横のつながりを持つ。(50代) ● きづかいてできる人間関係、助けあう。(50代) ● 生まれた家、家族を大事にできる。(50代) ● あいさつができるまち。(50代) ● あいさつをしあう。思いやりを持つ。(60代以上) ● 人と人が触れ合う機会を多くする。(60代以上) (再掲) ● 色々な人たちがもっと話しやすいように。(高校生) ● 村の中のネットワークづくりが大切。自治協の広報以外に区内の情報紙が必要。(60代以上) ● 楽しいまちづくり。(60代以上) ● 自分本位ではなく互いに助け合いの話し合いを持つ。(60代以上) ● 今住んでいる人が安心して暮らせるまちづくり。(60代以上) ● 家族が安心して暮らせるまち。(30代) ● 地域力の向上。(60代以上) ● 若い人からお年寄りまで笑って話せるまち。(高校生) ● 親密になりすぎないように。(20代) ● 自家用車で移動は会話の機会を少なくする。(60代以上) ● 近所同士が気軽に出入りできる雰囲気づくりの支援。(60代以上) ● 区内で共同作業を多くすることで、人と人とが顔を合らし話す時間を増やす。(60代以上)

高齢者への支援	<ul style="list-style-type: none"> ● 高齢者を実家において若者たちだけでまちに住むことは良くないことです。(60代以上) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 独り暮らしでも安心して生活することができる地域づくり。(60代以上) ● 交通弱者の支援、買い物弱者への支援。(40代)
若者の活躍		<ul style="list-style-type: none"> ● 若者が引っぱっていく姿。若者も元気なまち。(20代)(再掲) ● 地域の取組みにもっと若者を入れる。(20代) ● 若者に向けて SNS で発信し情報を共有することが必要。(40代)
子育て支援		<ul style="list-style-type: none"> ● 子育てしやすい地域に。(60代以上・複数) ● 子育ての環境が整っていることが若者が住みやすい地域の前提条件になる。(40代)
障害者の活躍	<ul style="list-style-type: none"> ● 社会福祉(発達障害者)の受入体制が弱い。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 各障害者に応じた複数の段階に応じた施設を設置できるように希望する。(60代以上)
外国人の受入れ	<ul style="list-style-type: none"> ● お年寄りの方は外国人の方に偏見を持っている方が多いと感じた。(高校生) ● 外国人の方に地元の方が冷たいと感じる。(高校生) ● 外国人や移住者の人たちへもっと積極的に関わっていくことが大切。(高校生) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 外国人が住みやすいまちづくり。(高校生) ● 朝来市の方が外国人だからという偏見を減らせるようにしていきたい。(高校生) ● 外国人とふれあう機会が必要かも。(高校生) ● 外国人や移住者の人々に地域住民の温かさを伝えていく。歓迎する。(高校生)
移住者の受入れ	<ul style="list-style-type: none"> ● 移住者を受け入れない風潮が残っている地域もある。(未来会議の対話のなかで)(20代)(再掲) ● コミュニティに入りにくかった。イベントに来る人も決まっている。(40代) ● 移住者に対して排他的な方も少しいる。(30代)(再掲) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 移住者が住みやすいように地域が協力する。(40代)(再掲) ● 地域コミュニティで移住後もよそ者として扱うのではなくオープンに。(40代) ● 新規移住者が住みやすいまちに。(大学生) ● 移住者が困らない地域にする。(50代)(再掲) ● 移住者も地域の行事・日役と一緒に楽しむ。(60代以上) ● 移住者が住み心地の良い地域づくり、環境づくり。(20代) ● 移住者が相談できる人が欲しい。(20代)(再掲) ● 移住者を大事に。(60代以上)
生涯現役、健康づくり		<ul style="list-style-type: none"> ● 健康ポイント制があるが皆で取り組めるよう働きかけ等があると良い。(毎朝のラジオ体操など)(60代以上)
その他	<ul style="list-style-type: none"> ● ゴミ屋敷が増えている。(50代) ● 夜が暗い。(高校生) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境整備。ゴミをなくす、花を植える。(50代) ● 街灯をもう少し増やしてほしい。(高校生)

②地域づくり人材の育成・確保

	気になっていること(課題など)	ありたいまちの姿、どうしていきたいか(これから)
地域づくり人材の不足	<ul style="list-style-type: none"> ● 活動に参加する人が少ない。(60代以上) ● 人が動かない。(60代以上) ● 関わっている人が決まってくる。(高校生) ● 一人一人の自己意識の向上は必要。他責ではなく自責。 ● 行政にまかせっきりで参画していない。(40代) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 新規の人 Welcome!いろいろな人と話したい。(30代) ● 誰もが何かに属せるようなグループをつくる。また作ったことを発信してもらおう。(40代) ● 大人が気軽に集まれる、人付き合いの幅が広げられる場所が欲しい。(20代) ● 行動する人を確保する、養成する必要がある。(60代以上) ● 一人ひとりがまちづくりの主人公としてまちの姿と将来に向き合わなければまちの将来はない。(50代) ● 皆の居場所があるまち。(50代) ● 問題点を話し合える場が通年でほしい。(40代)(再掲) ● 色々な人たちがもっと話しやすいように。(高校生)(再掲) ● 参画し、意見を伝える、共に創る。(40代)
若者の地域づくりへの参画、活躍	<ul style="list-style-type: none"> ● 若者が少ない。(高校生)(再掲) ● 盛り上げてくれる人が少ない。(高校生)(再掲) ● 若者が少ない。(20代) ● 高齢者が多く、硬直している。(60代以上) ● 大人のことや市の名前をあげることを第一に考えているようにしか若者としては感じ取れない。若者向けの考え方ももっと持ってほしい。(高校生) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 福知山公立大学とつながり、若さと地域づくりにつながる。(60代以上) ● 地域の取組みにもっと若者を入れる。(20代)(再掲) ● 子どものころから主体的にまちづくりに参画する。(30代)(再掲) ● 次世代のリーダーの育成。
関係人口		<ul style="list-style-type: none"> ● 関係人口を増やしていきたい。(40代) ● 但馬以外の人との出会い。(60代以上) ● 市内外の人との交流(まつりなど)。(40代)

③全般

	気になっていること（課題など）	ありたいまちの姿、どうしていきたいか（これから）
地域コミュニティの希薄	<ul style="list-style-type: none"> ● 人と人とのつながりが希薄。(30代) ● 市内で意識の地域差がある。(50代) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 人と人とのつながりを大切にする人材育成。(60代以上) ● 人と人とのつながり、関わりを大切にする。(60代以上) ● 新たなコミュニティが生まれるまち。(コミュニティづくり)(20代) ● 人が集うまち。(60代以上) ● 世代間のギャップの相互理解と新しいコミュニティづくりへの移行。(40代) ● もっと人と人が上手くつながれるようになれば良い。(30代)(再掲)
閉鎖的な地域づくりの現場	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域コミュニティが閉鎖的。(高校生) ● 新しいことに挑戦しない。前例踏襲。(40代) ● 地元の意識が強すぎてしんどいという意見があった。(20代) ● 災害・防犯・事故防止等にやや過剰な反応。(30代) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 移住者や若者層にもオープンに。古くからのルールのみなおしを。(高校生) ● 若い人の活動(グループ)を応援。市だけでなく地域でも好きなことをしたらええで一とか。若者の横のつながり、誘いあう場。(30代) ● もっと遊びを。失敗を恐れず寛容な社会。(40代) ● 最先端(流行り)がすぐに取り入れられる柔軟なまち、面白いまちに。(30代) ● 地元愛を保ちつつ新たな人を受け入れる懐の深さを。(20代) ● もう少しルーズでありたい。(30代)
住民参加による住民満足度の上昇	<ul style="list-style-type: none"> ● 今いる住民の満足度を上げること。(大学生) 	<ul style="list-style-type: none"> ● まちの主人公になれるまちへ。(40代) ● 観光客・移住者も大事だが、今住んでいる住人の満足度を高めること。住みたいまちから、住んで良かったと思えるまちへ。(20代) ● 今住んでいる市民を大切にしてほしい。(40代)
まちの機能の集約化		<ul style="list-style-type: none"> ● コンパクトシティまではいかないにしても、ある程度集約が出来ていればと個人的に思う。旧町等の枠にとらわれず、アップデートして新たな枠組みでものの必要性も考えていくべきだと思う。(20代)
情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ● 情報公開、共有が不足している。遅い。(40代) ● 何をやっているのか分からない。(高校生) ● まちが市民にどのような支援をしてくれているのか分からない。(高校生) ● あさごの良さをうまく発信できていない。(40代) ● 地域のことをあまり知らない、知ろうとしない人がある。(30代) ● 住民に施策が伝わっていない。情報発信ができていない。(30代) ● 	<ul style="list-style-type: none"> ● 迅速な情報公開。(40代) ● まちの情報がわかるようにしてほしい。(50代) ● SNSでの市役所情報の発信。(50代) ● 若者向けにSNSで共有する。(高校生) ● 若者でも分かる表現で情報発信してほしい。(高校生) ● あさごの良さをPRする。効果的に。知っているようで知っていないことについて改めて知る。(40代) ● 少しずつ良くなっていることを当たり前と住民の方に思われられないように知ってもらう努力をすると良い。 ● それぞれの世代が出来ることを考え、発信する。(30代)

④その他

	気になっていること（課題など）	ありたいまちの姿、どうしていきたいか（これから）
公共交通	<ul style="list-style-type: none"> ● 交通の便が悪い。(高校生) ● 公共交通機関(鉄道・バス)が充実していない。(40代) ● 交通手段を早急に作らなければ。(60代以上) ● 交通の便が悪い。(40代) ● 交通手段が少ない。(高校生) ● 公共交通機関が不足。(40代) ● 交通の便が悪い。バス、電車。飲み歩けない。(20代) ● 駅周辺に駐車場が少ない。(20代) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 公共交通機関の充実。乗り換えなしで姫路まで行けるように。(40代) ● 朝来市から仕事や通学が出来るように都市基盤整備の充実。(大学生) ● 朝来市を起点に近隣市町へ就職する公共交通機関の充実。(20代) ● 交通手段を増やして行動できる範囲を多くする。(高校生) ● 便利に生活圏が広がれば市外に転居する必要もなくなる。(40代) ● 通勤の補助。(60代以上) ● のりあいタクシー。(40代) ● 市民に役立つ交通網にする。アコバスの路線など。(50代) ● 病院・買い物などの公共交通の充実。(60代以上) ● アクセスを改善しないと車がないと困る。(20代)

歴史・伝統文化		<ul style="list-style-type: none"> ● 伝統文化、歴史遺産等を活かせるような働きかけが欲しい。(60代以上) ● 市内の文化財、史跡等の見直し。(60代以上) ● 歴史を知る機会。(40代)
朝来市の一体感、旧4町の関係性	<ul style="list-style-type: none"> ● 市としての一体感はもちろん必要ですが、旧4町の特色が失われつつあると感じる。負担になる事象もあります。(40代) ● 4町を一つにまとめることの難しさを改めて感じました。(50代) ● まち全体のつながりが無い。(60代以上) ● 合併後の旧4町のPRが少ない。(60代以上) ● 広域交流になれば参加が減少する。(60代以上) ● 町間のわだかまり。(40代) ● 朝来市になって10年以上になりますが、いまだに旧町単位での意識が強い。垣根がなかなかとれない。(50代) ● 物語がつながっていない。市全体の情報発信がない。旧町の遺産になっている。(30代) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 朝来愛が作れるか。(50代) ● 合併後の旧4町の行事のPRが以前よりも少なくなっており、多くの方が行事に参加しやすい体制が必要である。(60代以上) ● もっと交流があって良い。(50代) ● 朝来市という一つの物語としてストーリーでつなぎ、地域で分かれることなく、全朝来市でつないでいけたらいい。(40代)
若者が楽しむ場	<ul style="list-style-type: none"> ● 遊べる場所がない。(30代) ● 市内で遊べるところがグラウンドぐらい。街へ出ないと遊べない。(高校生) ● 遊び場(カフェなど)がない。(40代) ● 若者が行きたいところが少ない。(高校生) ● 公園が少ない。(高校生) ● 中高生が遊べる場所が少ない。(高校生) ● 若者にとって遊ぶところ、おしゃれなお店がない。あっても気づいていない。(大学生) ● 遊ぶ場所が少ない。(20代) ● 若い世代が楽しめる場がない。(40代) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 遊び方の工夫。自然と遊びをおしゃれに気軽に。(30代) ● 市内で遊べるところを増やす。(高校生) ● 若者に注目してもらえるような施設が欲しい。(高校生) ● 若い人が好きそうなお店を出す。(20代) ● 楽しみがある場所。(高校生) ● ユニクロ、GUなど大手を誘致し、人が集まる街にする。(30代) ● ユニクロとかいろいろと便利さを求める。(60代以上) ● 例えば、おしゃれな店、ゲームセンターなどを増やしてほしい。(高校生) ● 映画館をつくりたい。(公民館などを使った月1週1での出張上映会的な)(大学生) ● ライブハウスがあるとオモシロそう。(大学生) ● 商業地はないが、利便性が高いことを周知する。(30代) ● 山東マサのブランドアップを目指して、朝来市でテニスコート、公園などをつくり、マサ土を活かした教育などを行う。
その他		<ul style="list-style-type: none"> ● 兵庫県での県庁所在地になることを目指す。(60代以上)

4 その他

- 行政の取組みに横のつながりが無い。朝来市全体を一つにするようになってほしい。(60代以上)
- 対話の中で、相談する場所、相談する人が無いとの声を聞いた。市役所の中で「なんでも相談室」を考えてみてはどうだろうか。(60代以上)
- 職員の仕事の対応が遅い。(60代以上)
- 職員減少で全体に行きわたっていない。(目が行き届いていないと思う)(60代以上)
- 未来会議のように市民の声の反映。(40代)
- 未来会議の取組み。市民の意見を聞く姿勢を強くあることが分かった。(50代)
- 今の取組みが人口増加につながっているのか分からない。そもそも今の朝来市がどのレベルなのか。(60代以上)
- 朝来芸術祭は素晴らしい。1000円でいっぱい音楽が聞ける。来年は全戸配布のビラにしましょう。またはポスター。(60代以上)
- 全体を通して施策対象・重点を何にするかがあいまいで、全方位あるいは高齢者に寄った施策・予算だと感じる。(30代)